

豊岡エキシビジョン2010

いざな
～豊岡への誘い～

東京・秋葉原で開催

豊岡市長 中貝 宗治

TOYOOKA
コフノトリ温泉と暮らふこと

七夕に素敵な豊岡との出会いを…

中貝市長のプレゼンテーション

市では、7月7日、東京・秋葉原(千代田区)で、首都圏情報発信イベント「豊岡エキシビジョン2010」を開催しました。

これは、本市のコウノトリをシンボルとした環境都市の実現に向けた先駆的な取り組みや、固有の自然、歴史、伝統、文化に根ざしたまちづくりを紹介するもので、当日は、マスコミ関係者など199人の来場がありました。

2回目となる今年は、コウノトリの雄大さや城崎温泉の日本情緒などの魅力を肌で感じていただくため、実際に豊岡にお越しいただく取材旅行(エクスカーション)を9月に予定し、来場者に参加を呼び掛けました。

《問合せ》秘書広報課情報戦略係 ☎23-1111



▲取材プログラム紹介コーナーでの説明



▲にぎわう出会いと再会の交流会場



▲熱心に耳を傾ける来場者

特別対談

「コウノトリと生物多様性」

聞き手の小野泰洋^{やすひろ}さんは、NHKエンタープライズのエグゼクティブプロデューサーで、自然番組「ダーウィンが来た」を手掛けられた方です。中貝市長との対談では、コウノトリが電柱に巣を作ったため除去したが、何度も繰り返し巣を作るため、とうとう人間側が送電を停止した話や、円山川のはんらんに備える豊岡では、古くからの自然な風景は少なくなりましたが、人が自然に抱かれながら知恵と工夫で生物多様性を実現していることなどが紹介されました。



豊岡への誘い

取材旅行の紹介

エクスカーションには、「コウノトリと生物多様性取材プログラム」「豊岡の匠取材プログラム」「観光地取材プログラム」と、3つのプログラムを用意し、それぞれの特徴的な取り組みや魅力などを、映像で紹介しました。

また、出会いと再会の交流会では、それぞれのプログラムごとに紹介コーナーを設け、担当者が詳しい説明を行いました。



豊岡エキシビションでは、こんなことをしました

首都圏女性プロガーから見た豊岡

見た豊岡

首都圏の女性プロガー8人が豊岡の情報を発信する「大好き豊岡応援隊」。5月に3日間の豊岡旅行を行い、そこで感じた豊岡の魅力を、FMジャングルDJ^{ラジオDJ}の西村基^{もと}さんの司会で紹介しました。

「コウノトリは夫婦で力を合わせて子育てを行っていて、人間も見習うべきだ」「どこに旅行に行っても、どこかで見た風景が多い中で、豊岡はこ



こでしか見られない風景が存在している」「東京では、豊岡のガイドブックが見当たらなかったもので、自分で作ります」などの意見が出されました。

出会いと再会の交流会

城崎温泉観光協会、但馬國出石観光協会の皆さんの協力で、豊岡の味覚や出石皿そばを提供しました。

会場では、城崎、出石ともに観光協会の担当者が、来場者にまちの魅力をアピールしたり、ミスゆかた、準ミスゆかたが登場し「ゆかたのファッションショー」の様子を伝えるなど、会場は華やかな雰囲気になっていました。



来場者の声

・豊岡には何度か行ったことがあるのですが、今回、新たな発見があり、良かったです。



- ・豊岡市の考えや取り組み、コウノトリ再生までの歴史が良く分かりました。
- ・市長の話をはじめ、大変興味深いイベントでした。
- ・市長の話がとても分かりやすく、素晴らしい取り組みを披露いただいた。これからの発展が楽しみです。
- ・小さな世界都市という言葉は、とても良かった。
- ・プロガーを使った広報活動は良いと思います。今後は、SNS^{ソーシャル・ネット・ワークス}（インターネット上の社会的ネットワーク）に広げてみては。
- ・初めて詳しい話を聞けて、感動しました。プロガーたちの話が良かった。行きたくなりました。
- ・対談の時間はもっと長くても良かったのでは。丸一日のイベントでも良かった。